



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,844	6.9	△21	—	△76	—	△15	—
24年3月期第3四半期	11,077	△13.4	△174	—	△251	—	△328	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △14百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △331百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△0.72	—
24年3月期第3四半期	△15.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,872	4,710	33.9
24年3月期	14,132	4,726	33.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,703百万円 24年3月期 4,719百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,030	7.3	60	—	120	—	120	—	5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社相澤 、 除外 1社 (社名) 株式会社二十一屋  
(注) 詳細は、添付書類3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	21,504,347 株	24年3月期	21,504,347 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	110,437 株	24年3月期	108,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	21,394,879 株	24年3月期3Q	21,395,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務問題や世界経済の減速、近隣国との関係悪化、長期化する円高、デフレ等の影響から依然として先行き不透明な状況が続きました。

外食業界におきましても、消費税増税法成立や雇用環境も停滞傾向にあり、生活防衛意識の高まりによる消費者の節約志向は依然として根強いものがあります。また、牛肉や米、電気・ガス等のエネルギーコストの上昇等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高118億44百万円（前年同四半期比6.9%増）、営業損失21百万円（前年同四半期は営業損失1億74百万円）、経常損失76百万円（前年同四半期は経常損失2億51百万円）となり、また、受取補償金2億51百万円を特別利益に、減損損失1億23百万円（当第3四半期連結会計期間は80百万円）を特別損失に計上したことにより、四半期純損失は15百万円（前年同四半期は四半期純損失3億28百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は200店舗であります。内訳は直営161店舗、暖簾5店舗、F C 34店舗であります。

販売促進につきましては、〔WEB限定風邪撃退クーポン登場!〕、〔秋のクーポン総選挙〕、〔アメリカンジャンボフェア〕といった安楽亭の楽しさを伝えるフェアを開催してまいりました。また、キャンペーンを月例の定例タイミングのみならず〔一週間限定〕や〔店舗・地域限定〕の特別企画とするなど、趣向を凝らした新たな取組にも着手しております。

商品開発におきましては、近年利用の増加が顕著なシニア層ないし女性層に訴求する新商品としてヘルシーな赤身肉の焼肉商品や、お一人様向けの定食商品のご提案を続けております。また、仕入/製造/物流/販売を一貫する当社サプライチェーンを基盤とした衛生管理マネジメントを活用し、厚生労働省が定めた「生食用食肉の規格基準」を充足した牛ユッケの販売店舗の展開を進めております。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は100億34百万円（前年同四半期比6.7%増）となり、セグメント利益は3億1百万円（前年同四半期比76.6%増）となりました。

## ② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、〔秋の収穫!きのご狩フェア〕、〔食欲の秋!味くらべ祭〕、〔大感謝祭〕等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを開催してまいりました。また、七輪房宇都宮宿郷店においては牛ユッケの販売を再開しております。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は13億69百万円（前年同四半期比11.9%増）となり、セグメント利益は82百万円（前年同四半期比320.9%増）となりました。

## ③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は17店舗であります。内訳は直営9店舗、暖簾2店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「楽コンセプト（焼肉）」、「まんぼく（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、

「上海菜館(中華)」、「龍饗(中華)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「AGRICO(イタリアンカフェ)」、「KARIN(スンドゥブダイニング)」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は4億40百万円(前年同四半期比2.8%減)となり、セグメント損失は41百万円(前年同四半期はセグメント損失36百万円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少し、138億72百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却及び減価償却等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少し、91億61百万円となりました。これは主に、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少し、47億10百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月9日に公表しました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社のうち、(株)サリックスマーチャンダイズシステムズ(存続会社)と(株)デイリーエクスプレス(消滅会社)及び(株)相澤(存続会社)と(株)二十一屋(消滅会社)は、平成24年4月1日付で合併しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失は2,155千円減少し、税金等調整前四半期純利益は2,155千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	999,864	1,228,159
受取手形及び売掛金	288,272	265,844
商品及び製品	89,159	156,483
仕掛品	326	811
原材料及び貯蔵品	230,144	319,472
前払費用	216,623	207,815
繰延税金資産	2,733	1,078
その他	129,359	130,900
流動資産合計	1,956,482	2,310,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,697,949	2,486,016
機械装置及び運搬具(純額)	19,958	18,373
工具、器具及び備品(純額)	75,069	74,444
土地	5,991,424	5,762,685
リース資産(純額)	20,304	21,988
建設仮勘定	183	—
有形固定資産合計	8,804,890	8,363,507
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	63,830	64,414
長期貸付金	911,971	875,368
長期前払費用	29,822	25,749
繰延税金資産	10,348	10,010
敷金及び保証金	2,931,177	2,789,863
その他	58,381	55,926
貸倒引当金	△737,530	△736,973
投資その他の資産合計	3,268,001	3,084,359
固定資産合計	12,176,113	11,561,447
資産合計	14,132,596	13,872,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,372	594,419
短期借入金	6,843,494	6,556,120
リース債務	5,443	8,875
割賦未払金	60,828	15,207
未払金	214,915	221,512
設備関係未払金	61,985	21,766
未払費用	451,194	471,361
未払法人税等	90,181	70,973
未払消費税等	45,665	76,197
賞与引当金	61,400	29,955
転貸損失引当金	2,680	2,680
その他	447,296	456,826
流動負債合計	8,783,458	8,525,897
固定負債		
長期借入金	11,400	—
リース債務	15,876	24,433
長期割賦未払金	7,301	437
繰延税金負債	115,566	115,700
退職給付引当金	122,052	125,749
役員退職慰労引当金	249,637	267,510
転貸損失引当金	31,367	29,490
その他	68,985	72,034
固定負債合計	622,186	635,355
負債合計	9,405,644	9,161,252
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△909,540	△924,861
自己株式	△66,105	△66,875
株主資本合計	4,744,001	4,727,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,369	△24,008
その他の包括利益累計額合計	△24,369	△24,008
新株予約権	7,320	6,860
純資産合計	4,726,951	4,710,761
負債純資産合計	14,132,596	13,872,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,077,668	11,844,181
売上原価	4,061,212	4,378,865
売上総利益	7,016,456	7,465,316
販売費及び一般管理費	7,190,778	7,486,848
営業損失(△)	△174,322	△21,532
営業外収益		
受取利息	26,440	25,392
受取配当金	1,289	1,570
受取地代家賃	8,012	8,340
貸倒引当金戻入額	1,700	476
その他	27,958	37,869
営業外収益合計	65,401	73,650
営業外費用		
支払利息	133,450	119,733
その他	8,928	8,720
営業外費用合計	142,379	128,454
経常損失(△)	△251,300	△76,336
特別利益		
固定資産売却益	2,476	1,079
受取補償金	30,464	251,912
特別利益合計	32,941	252,992
特別損失		
固定資産除却損	1,502	69
減損損失	6,128	123,095
賃貸借契約解約損	8,004	5,972
特別損失合計	15,636	129,137
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△233,995	47,518
法人税、住民税及び事業税	52,097	60,846
法人税等調整額	41,913	1,992
法人税等合計	94,011	62,839
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△328,006	△15,320
四半期純損失(△)	△328,006	△15,320

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△328,006	△15,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,765	361
その他の包括利益合計	△3,765	361
四半期包括利益	△331,771	△14,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△331,771	△14,959

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,401,538	1,223,378	452,751	11,077,668	11,077,668	—	11,077,668
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,401,538	1,223,378	452,751	11,077,668	11,077,668	—	11,077,668
セグメント利益又は 損失(△)	170,518	19,678	△36,440	153,757	153,757	△328,079	△174,322

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「七輪房業態」セグメントにおいて、1店舗が閉鎖予定のため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6,128千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,034,640	1,369,332	440,209	11,844,181	11,844,181	—	11,844,181
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,034,640	1,369,332	440,209	11,844,181	11,844,181	—	11,844,181
セグメント利益又は 損失(△)	301,117	82,824	△41,448	342,493	342,493	△364,025	△21,532

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「安楽亭業態」のセグメント利益が1,382千円増加し、「七輪房業態」のセグメント利益が223千円増加し、「その他業態」のセグメント損失が389千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては99,579千円であります。

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては23,516千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。